

No. 126 発行: 山口市立小郡図書館 山口市小郡下郷609番地1  
TEL083-973-0098・FAX083-973-2442  
ホームページアドレス: <http://www.lib-yama.jp/> メールアドレス: [ogori@lib-yama.jp](mailto:ogori@lib-yama.jp)

## 11月3日(日) 小郡図書館まつりを開催しました



9 小郡図書館まつりでは、  
5 催し物で賑わいました。  
4 人の来館がありました。  
な 催し物で賑わいました。

ブック  
リサイクル



前庭で行われました。小雨の降る中  
たくさんの方に来ていただきました。

おはなし会  
スペシャル



午前、午後と2回開催。紙芝居や絵本、  
エプロンシアター、パルーンアート、折  
り紙など盛りだくさんの内容でした。

ライリーと  
写真を撮ろう!



午前1回、午後3回と開催。等身大の小郡図書館  
のキャラクター「ライリー」と一緒に記念撮影。  
元気よく抱きついてくるお友達やタッチをす  
るお友達もたくさんいました。

図書館の  
本から  
生まれた  
作品展



今年で9回目となる作品展。昨年引き続き「もの  
づくり教室」で作った好きなお話の絵を描いたバッグ  
を展示しました。ほかに流行のハーバリウムなども。

階段アート



毎年恒例の階段アート。今年は1階と2階  
に改札を設置。交通の要衝小郡ならではの  
展示になりました。

楽しい  
万華鏡  
作り



レシートの芯をリサイクルで使った万華  
鏡作りでは、子どもも大人も夢中で出来  
上がった万華鏡を覗いていました。

うの  
れしも  
だちで  
たたく  
よ!  
記念  
撮影  
でたく  
さん



11月9日(土)  
小郡図書館友の会  
鉢の子10周年記念

### 室積 光氏講演会 図書館で出会うヒントを開催しました

脚本家、演出家、俳優としても活躍され、ドラマ化もされた「都立水商!」などの著書がある作家の室積 光さんをお招きし、講演会を開催しました。ご自身のペンネームの由来や一緒に仕事をした俳優やスタッフとの裏話などをユーモアたっぷりにお話してくださいました。また「人間は一生図書館(本を読む)と体育館(体を動かす)に通うべきだ」という言葉は生涯学習の場としての図書館の役割を印象付けるものでした。参加者からは「室積さんのお話を聞いて、これからのいろいろなことに関心を持ち、わからないことは図書館に通って調べようと思う。」との声もありました。



## 新着情報

### ★一般図書

心がワクワクして元気が出る!37の旅の物語  
驚きの日本一が「ふるさと」にあった  
退職代行  
60代から頭がよくなる本  
戦国の山城を極める  
1960年代鉄道の記録  
仏像100のひみつ  
大人の読解力を鍛える  
美しき鐘の声 平家物語 3

にしざわ やすお  
西沢 泰生  
やまだ ゐの  
山田 稔  
おざわ あきこ  
小澤 亜季子  
たかしま てつじ  
高島 徹治  
かとう まさみ なかい ひろ  
加藤 理文 中井 均  
つじさか あきひろ  
辻阪 昭浩  
えいしゅつばんしや  
樫出版社  
さいとう たか  
齋藤 孝  
きむら こういち  
木村 耕一

### ★児童・ティーンズ

かべのすきま  
2ひきのかえる  
だんだんできてくる1 道路  
世界の動物・岩石・化石・貝・大図鑑  
きつねの橋  
べんごし けんさつかん さいばんかん いちにち  
弁護士・検察官・裁判官の一日 WILLこども知育研究所 // 編著  
文豪ストレイドッグス公式ガイドブック 転化録 文豪ストレイドッグス制作委員会 // 監修  
なかにし みどり 文  
中西 翠 // 文  
さわの あきふみ  
澤野 秋文 // 絵  
にいみ なんきち // 作  
しまだしほ // 絵  
かしまけんせつつかぶしがいいしゃ  
鹿島建設株式会社 // 監修  
ダン・グリーン // 文  
くぼた かおり  
久保田 香里 // 作  
うえの ゆう  
上野 遊 // 著

☆ここに掲載した資料は新着資料の一部です。  
新刊本コーナーもぜひご覧ください。

# 図書館員のおすすめ本

おすすめの本は、新刊の棚の脇に置いてあります。ご不明な時は職員へお尋ねください。

## わたしの1冊

アンディ・ウォーホル  
ジョセフ D.ケットナー2世



温かいスープが恋しい季節になりました。  
グローサリーストアで目が合ったキャンベルのスープ缶。作り方はとても簡単。鍋に中身をドボン。空き缶に同量の水か牛乳を入れ、混ぜて火にかけてきあがり。そのスープ缶に魅せられた男がいました。中身ではなくパッケージに。彼の名はアンディ・ウォーホル(1928～1987)ポップアーティストです。  
赤地に踊るキャンベルの白い文字。時に縦に横にと列を変え、忠実に再現された代表作「キャンベル・スープ缶」。他にもバナナ、マリリンモンロー、ドル記号等、この世で目の合った事物を鮮やかな色合いで紙の上に投影させる彼の作業は今も人々の目を楽しませています。  
あっそうそう、来年の事を言うと鬼が笑うと言いますが、2020年京セラ美術館でウォーホルの大回顧展が開催されます。ご興味ある方は新しい手帳に予定を入れてみてくださいね。その前に本書で予習されると美術鑑賞がより充実するかもしれません。

## ティーンズおすすめ本

テーマ:クリスマス

12月といえば、クリスマスですね。みんなが楽しみにしているクリスマスに、殺人が起きた!? 今回はクリスマスを舞台にしたミステリー小説を2冊紹介したいと思います。

### びっくり館の殺人

綾辻 行人/著/T アヤ

主人公の僕は、古本屋でたまたま手にした1冊の本をきっかけに、10年半前の奇妙な殺人事件を思い出す。それはクリスマスの夜に起きた不思議な出来事で...

### サンタクロース殺人事件

ピエール ヴェリー/著/TF ヘビ

モルトフォンという町にはクリスマスの夜、聖ニコラの聖遺物が教会で飾られるはずだった...。その聖遺物が盗まれ、クリスマスの夜に、サンタクロースが殺された!!

## えほんはいかが?!



### くまのこのとしこし

高橋 和枝 // 作

E タカ

12月に入ると、あっという間にクリスマスがきて、すぐに大晦日、そしてお正月です。  
年末になると、大掃除をしたり、お買い物をしたり、毎年このこととはいえ、お正月の準備で大忙しですね。初めて「らいねん」を迎えることになったくまのこは、おとなたちのすることを真似して、自分なりに「らいねん」を迎える準備を待ちます。この絵本を読みながら、くまのこといっしょに、年末にすることを意味をひとつひとつ確認してみるのはいかがでしょうか。きっと新しい発見があって楽しいですよ。

## こどもクイズコーナー

『サンタクロースの11かげつ』マイク・リース//文 マイケル・G・モントゴメリー//絵からの もんだいです。サンタクロースは5月に なにをしに にほんへ きましたか?

- ①しごと
- ②べんきょう
- ③すもう
- ④スパイ

前回のクイズの答えは、「②ミチコ」でした。



## 12月の行事予定表

- 1日(日) みんなのおはなし会 14:30~
- 7日(土) 楽しいブックマーク教室 13:30~
- 7日(土)~14日(土) 素敵なブックマーク展
- 8日(日) 折り紙教室 14:30~
- 20日(金) 赤ちゃんのためのおはなし会 11:00~
- 22日(日) 子どもワイワイ本カフェ 11:00~
- 22日(日) 4さい以上からのおはなし会 14:30~

## 12月の企画展示

★一般向け

玄関横:「なぜ? どうして? の本」  
AVブース横:「映画化された小説」

★児童向け

「クリスマス」